

2026年度インターンシップのご案内

原子燃料工業では毎年、学生の皆さんに就業体験を通して、原子力産業の理解を深めていただく機会として、インターンシップを開催しています。

原子力業界に興味のある方はもちろん、原子力とは？と思っている方、原子力は総合科学の結集であり、原子力系はもちろん、物理、化学、機械、電気、材料など、様々な分野のエンジニアに活躍の場があります。

また、「会社ではどのように仕事を進めているのか」、「社会人になった生活を知りたい」など、様々なご要望にお応えできるよう、長期、短期と幅広いテーマをご用意しています。

多くの方のご参加を心よりお待ちしております。

記

1. 会社概要

会社名： 原子燃料工業株式会社
創 立： 1972年
資本金： 32.5億円
従業員： 約550名

事業内容： 原子力発電所で使用する原子燃料（ウラン燃料）を設計開発・製造しているほか、発電所における検査機器の開発・製造、原子力施設やその他公共施設の非破壊検査の開発・実施など、幅広く事業を展開しております。

政府のGX（グリーントランスフォーメーション）政策の実現に向け、高品質なモノづくりとエンジニアリング技術で躍進しております。

主要取引先： 関西電力、九州電力、四国電力、北海道電力、東北電力、東京電力、中部電力、中国電力、日本原子力発電、日本原燃、JAEA 他



原子燃料工業サイト

2. インターンシップ内容

(1) 給与及び期間

長期：4～10日間 日給：9,200円 ※1日（7時間45分）

短期：2日間 日給：なし

実施期間：7月中旬～10月初旬

日程につきましては、ご希望日を伺ったあと、調整させていただきます。



インターンシップサイト

(2) インターンシップのテーマ

長期（研究型インターンシップ）、短期のテーマを複数ご用意しております。
詳しくは『別紙- 1 』を参照ください。

(3) 場所

次の事業所にお越しいただけます。

熊取事業所（大阪府泉南郡熊取町朝代西 1-950）

JR 阪和線・熊取駅よりタクシーにて約 10 分

泉大津工場（大阪府泉大津市河原町 7-5）

南海本線・泉大津駅よりタクシーにて約 5 分

東海事業所（茨城県那珂郡東海村村松 3135-41）

JR 常磐線・東海駅よりタクシーにて約 5 分

(4) 宿舍

ビジネスホテル等を無料で用意いたします。（食事費は個人負担願います。）

(5) 交通費

実費支給します。

(6) 参加申込書類

『インターンシップ申込書』（別紙- 2）

(7) 申込先

Email : nfi-intern@ml.toshiba.co.jp に書類を添付の上、お申込みください。

(8) 申込期限

[申込期限はサイトをご確認ください](#)

上記参加申込書類の審査の上、実施を決定させていただきます。

申し込みテーマが重複した場合は、別テーマをご提案させていただく場合があります。

実施が決まりましたら、各担当者よりご連絡させていただきます。

なお、申込期限を過ぎた場合でも、受け入れを検討させていただきますので、

ご興味ございましたら nfi-intern@ml.toshiba.co.jp へご連絡いただくと幸いです。

3. その他

『行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律』により、給与に対する税務関係の事務手続においてマイナンバーが必要になります。
長期インターンシップの実施が決まった方につきまして、マイナンバー（個人番号）情報の届出をお願いすることになりますので、担当者よりご案内させていただきます。

4. 連絡先

ご不明な点がございましたら下記担当までお気軽にご相談ください。

原子燃料工業株式会社 人事総務部 山田、柿崎

住 所： 〒230-0051

神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央4丁目33番5号 TG 鶴見ビル3階

T E L： 045-500-6300

Email： nfi-intern@ml.toshiba.co.jp

U R L： <https://www.nfi.co.jp>

以 上

2026年度インターンシップテーマ一覧 <<実施期間：7月中旬～10月初旬>>

原子燃料工業株式会社

別紙-1

No.	区分	実施テーマ	概要	対象	実施場所	実習期間
1	検査設備設計 (装置設計)	原子力発電所で使用するMOX燃料関連設備の設計	原子力発電所内で混合酸化物（MOX）燃料集合体を大気中で取り扱う（移送、検査）ためには、専用の装置が必要となる。MOX燃料は通常のウラン燃料と比較して放射線強度や温度が高い特徴があり、この点を考慮した特別な設計が必要となるためである。弊社の設備設計を担当するエンジニアと一緒に本業務に従事し、設備設計の勘所、モノ作りで気を付ける点などを習得いただく。	学部 大学院	熊取 事業所	長期：5日間 ※祝日がある週は 4日間
2	検査設備設計 (装置設計)	原子力発電所で使用するウラン燃料関連設備の設計	原子力発電所内で、原子燃料集合体を大気中で取り扱う（移送、検査）ためには、ウラン燃料専用の設備が必要となる。弊社の設備設計を担当するエンジニアと一緒に本業務に従事し、設備設計の勘所、モノ作りで気を付ける点などを習得いただく。	学部 大学院	熊取 事業所	長期：5日間 ※祝日がある週は 4日間
3	生産技術 (生産設備設計)	ばね生産における 工程内検査の改善提案	原子燃料に使用される部材の一つであるばねは、品質管理を厳密に実施する為、生産部門と品質管理部門でダブルチェックを実施している。 生産部門の検査では、製品の合否判定に加え、規格適合性の維持・向上及び品質の安定化の確認を実施している。 本インターンシップでは、ばね生産部門での検査を体験し、作業工程や作業用治具の改善提案することを目的とする。さらに、可能な場合には、より発展的な内容としてばね設計に関する改善提案にも挑戦いただく。	学部 大学院	熊取 事業所 (泉大津 工場)	長期：5日間 ※祝日がある週は 4日間

2026年度インターンシップテーマ一覧 <<実施期間：7月中旬～10月初旬>>

原子燃料工業株式会社

別紙-1

No.	区分	実施テーマ	概要	対象	実施場所	実習期間
4	燃料開発 (核設計・コード開発)	PWR MOX燃料設計に関する検討	MOX燃料は燃料仕様（Pu/U組成や高／中／低Pu富化度分布）が変わると、炉心に装荷した際の炉心特性（出力ピーキング係数、燃料棒燃焼度）が変化する。本テーマでは、PWR炉心を対象として、MOX燃料を炉心に装荷した際の炉心特性に関する検討を行う。 具体的には、燃料仕様の異なるMOX燃料を用いて燃料装荷パターン作成を行い、炉心特性及び燃料装荷パターン成立性の観点から、燃料仕様の違いの影響について検討する。	学部 大学院	熊取 事業所	短期：2日間
5	燃料開発 (安全・熱水力設計)	CFD（数値流体力学）解析を用いたPWR燃料集合体の設計検討	PWR燃料集合体に使用される支持格子と呼ばれる部材には、混合羽根を設置して燃料集合体周辺を流れる冷却材を攪拌し、除熱を促進する機能を持たせている。本テーマでは、CFD（数値流体力学）解析を用いて燃料集合体周りの冷却材流れ及び伝熱挙動を評価し、より効率的に除熱できる支持格子の設計を検討する。	学部 大学院	熊取 事業所	短期：2日間
6	施設管理 (放射線計測)	軽水炉燃料加工施設における環境放射線モニタリング（施設停止中のモニタリング）	燃料加工施設周辺の放射線測定を実習いただく。 実際に燃料加工施設周辺で空気サンプリングを行い、放射性物質濃度の測定を行う。 また線量率サーベイメータを使用して燃料加工施設周辺の線量率の測定を実施し放射線モニタリングの必要性を理解する。（机上教育を実施した後、屋外での作業となります）	学部 大学院	東海 事業所	短期：2日間